



馬毛島全景(2021年撮影)

馬毛島新基地建設に抗して…

# 「島を守る(第1章)波紋」

上映時間80分(川村貴志・川村未菜 製作) 2022年完成

ドキュメント相模原72

# 「戦車を止める斗い」

上映時間60分(市民映画上映実行委員会 製作) 1973年作品

入場無料

連続上映

11/19(土)

12時～ 1回目上映

14時半～ 2回目上映

※11時半開場 ※多少の前後はご容赦を

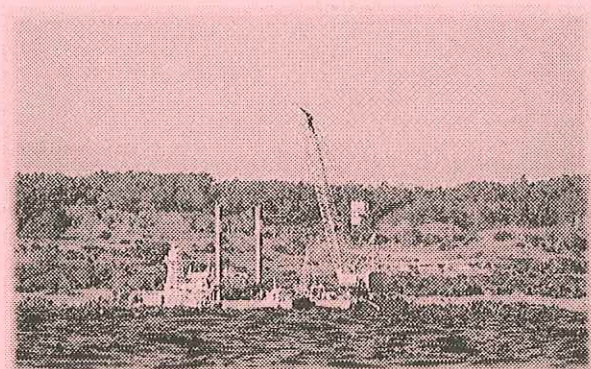
相模原市立産業会館

JR相模原駅下車徒歩20分/神奈中バス; 市役所前下車5分・市民会館前下車3分

1972年9月19日・相模補給廠正面ゲート前



■相模補給廠監視団 (TEL.042-756-9460/090-2304-0259/メール;kickoff-swdmsj@jcom.home.ne.jp)



## 「島も守る(第1章)波紋」

みなさん、馬毛島をご存知でしょうか。鹿児島県の種子島の西方12kmに位置する無人島です。「マゲシマ」と発音します。馬毛島はずっと無人島だったわけではありません。戦後多くの人々が入植。1970年代半ばにレジャーランドや石油備蓄基地建設計画が持ち上がり、土地は買収され、住民は島を離れることになりました。

その島に、自衛隊の戦闘機の訓練基地を建設し、米軍の空母艦載機の離発着訓練(FCLP)も実施しようという計画が進行しています。島には、豊かな自然が残され、多様な生物が生息、海洋資源も豊富で漁を生業にしている人も大勢います。基地建設が進めば、島の景観を破壊し、周辺に爆音がとどろき、島の生物は生きていく場所をなくします。

今回の映画は、馬毛島の違法開発、国の買収、基地建設などで「宝の島」が無残な姿になっていくことに危惧の念を抱いた屋久島在住の川村貴志さん、末菜さん夫妻がクラウドファンディングで資金を集め、日常を取材と撮影に費やして製作したものです。馬毛島の自然の美しさ、島を翻弄する国の政策とに抵抗する市民の姿などを記録しています。

完成したばかりです。ぜひ、見に来て下さい。



## 「戦車を止める闘い」

1972年8月5日深夜、南ベトナムに向け搬送されようとしていた米陸軍のM48戦車を横浜ノースピア(現ノースドック)入り口で社会党(当時)議員や労働組合員らが立ちはだかり、搬送を止めました。

横浜市長がノースピア入り口に架かる村雨橋の通行は車両制限令に違反とし、戦車は公道で立ち往生させられました。そして48時間後、戦車は相模補給廠へ引き返すことを余儀なくされました。

それから100日間、補給廠から出ることができませんでした。戦車の搬送を止めようと、市民・労働者・学生たちが全国から集い、テント村をつくり、座り込みをし、戦車搬出阻止のたたかいを繰り広げました。テントの数は30数張りに及び、夜になると大勢の市民が駆けつけ、西門交差点はさながら、毎晩お祭りのような場所となりました。その3年後、1975年4月30日、サイゴン(現ホーチミン市)が解放され、ベトナム戦争は終わりました。

「ドキュメント相模原72-戦車を止める闘い」は50年前の闘いの様子を撮影した映画です。40年後、8ミリフィルムをデジタル化した作品です。8月開催の写真展でも上映しましたが、今回は大画面での上映となります。ぜひ、ご覧になってください。

